

# 授業科目 NO. 206 臨床医学総論

## General Theory of Clinical Medicine

授業の形態： 講義

単位数（時間数）： 2 単位（30 時間）

開講年次・学期： 1 年次・後期

必修・選択の別： 必修

キーワード： 病態生理、症候、臨床推論、救急医療（BLS）

### 1 金沢医科大学看護学部への到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

### 2 学 修 目 標

#### 1) 一般目標（GIO）

- (1) 多職種で構成された医療フィールドで臨床倫理という一職業倫理に基づいて行動する態度、志向性を備える。
- (2) 生態生理学及び病態生理学の知識をもとに症候学や診断学を連携させながら系統的に疾病の仕組みを理解する。
- (3) 臨床検査方法や放射線検査法などの基本を学修するとともに施行される検査の意義を学修する。
- (4) 国際的な医療協力、途上国への医療支援など学修する。
- (5) 救命救急の概念と心肺蘇生法を学び、実技演習により臨床現場で活用できる能力を修得する。

#### 2) 行動目標（SBO）

- (1) 医学総論を学ぶにあたり多職種で構成された医療という大きな枠組みを理解するとともに当該領域での職業倫理（臨床倫理）を述べることができる。(①)
- (2) 生態生理学や病態生理学を横断的に復習・整理し、症候と臨床症状の関連及び疾患に対して必要とされる臨床検査や理学的所見ならびに導き出される診断から治療へ至るロジックを学修する。(②)
- (3) 社会的に注視される臨床問題に関する情報を理解し分析することができる。(③)
- (4) 現在行われている国際医療協力・連携の仕組みを理解し、現状を学修する。(⑤)
- (5) 救急法では救命救急の概念と心配蘇生法の知識と技術を学び、一次救命処置の実技レベルを演習し、臨床現場で活用できる能力を実践できる。(②)

### 3 学 修 内 容

#### 第 1 回前半 イン트로ダクション

第 1 回から第 12 回までの講義概要・コマシラバスの紹介

内容 講義のイントロダクションとしては講義概要をシラバスに準じて解説する。各講義枠は前半・後半の 2 部構成としている。臨床医学総論のイントロダクションとしては、医学・医療史の概要を提示し、看護学史にも少し触れて概説する。

|      |                |                                                                                                                                                                      |
|------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | 後半             | 臨床倫理：医療倫理として位置付け、研究倫理との違い<br>内容：倫理学における応用倫理領域の一つである職業倫理としての看護倫理学や領域倫理学である医療倫理を概説し、研究倫理との相違点などを提示し解説する。                                                               |
| 第2回  | 前半<br>後半<br>内容 | 循環・呼吸生理学の復習<br>循環・呼吸疾患の病態生理から症候へのアプローチ<br>体循環・肺循環を背景に機能する循環生理・呼吸生理を復習し、当該部位に発症する疾病に関する病態生理を理解し、惹起される症候を学修する。                                                         |
| 第3回  | 前半<br>後半<br>内容 | 消化器・腎/尿路系生理学の復習<br>消化器・腎/尿路系疾患の病態生理から症候へのアプローチ<br>消化器・腎/尿路系を背景に消化器・腎/尿路の排泄・再吸収の生理を復習し、当該部位に発症する疾病に関する病態生理を理解し、惹起される症候を学修する。                                          |
| 第4回  | 前半<br>内容       | 診断学：フィジカルアセスメント総論・身体計測・バイタルサイン<br>看護介入を的確に実施するために必要な患者さんの身体状態の把握のツールであるフィジカルアセスメントの目的や、その基本に関して学修する。客観的患者情報の基本である身体計測およびバイタルサインに関して確実な知識を得る                          |
|      | 後半<br>内容       | 診断学：胸部診察 腹部診察<br>胸部・腹部の解剖や機能などの基礎知識を元に、フィジカルアセスメントによって呼吸器・消化器の働きを見極められるようにする。                                                                                        |
| 第5回  | 前半<br>後半<br>内容 | 運動器・脳神経生理学の復習<br>運動器・脳神経疾患の病態生理から症候へのアプローチ<br>運動器・脳神経系の機能や生理を復習し、当該部位に発症する疾病に関する機能障害・病態生理を理解し、惹起される症候を学修する。                                                          |
| 第6回  | 前半<br>後半<br>内容 | 内分泌・血液・免疫生理学の復習<br>内分泌・血液・免疫疾患の病態生理から症候へのアプローチ<br>内分泌・血液・免疫系の生体内システムを復習し、当該システムに発症する疾病の発病機序や病態生理を理解し、惹起される症候を学修する。                                                   |
| 第7回  | 前半<br>内容       | 臨床推論 概念と導入<br>臨床の現場で思考し、意思決定する過程が、臨床推論であり、クライアントの状況に応じて（インタビュー・理学的所見・検査所見など）ネーミング（診断）とフレーミング（ケア・キューア）を選択するとともにクライアントや介護者と一緒に臨床的意思決定を行うことにも関与することを学習する。               |
|      | 後半             | 国際医療・チーム医療<br>内容 欧米の医療体系の現状と国際医療協力などに関して概説する。現在の医療においては多くの医療職が連携、協働するチーム医療が医療供給体制の基本であり、現在の本邦でのチーム医療の現状とチーム医療が目指すものについて概説する。                                         |
| 第8回  | 前半<br>後半<br>内容 | 外科基本手技<br>自在コマ／前半講義まとめ<br>外科的基本手技に関して臨床に沿って概説する。シミュレーターを用いて実際に手技を提示し、手技の流れを確認する。また創処置やドレッシングテクニックに関して必要な知識を学修する。後半の自在コマは遅延講義や追加での講義の時間枠で、必要なければ第1回から第7回までの講義のまとめを行う。 |
| 第9回  | 前半             | 臨床検査：検査概説 i) 生化学検査                                                                                                                                                   |
|      | 後半             | 臨床検査：ii) 細菌検査 iii) 生理検査                                                                                                                                              |
| 第10回 | 前半             | 臨床検査：iv) 放射線検査                                                                                                                                                       |
|      | 後半<br>内容       | 臨床検査：v) 内視鏡検査 vi) 病理検査 vii) 遺伝子検査<br>検査の必要性や利用するタイミング、検査法の選択などを中心に臨床検査の概要を解説する。検査各論として i) 生化学検査、ii) 細菌検査、iii) 生理検査、iv) 放射線検査、v) 内視鏡検査、vi) 病理検査、vii) 遺                |

伝子検査の 7 項目に分けてそれぞれ検査の意義、概要、得られる結果に関して解説する。とくに iv) 放射線検査、v) 内視鏡検査は検査画像の供覧も行う。

|        |                |                                                                                                                                                       |
|--------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 11 回 | 前半<br>後半<br>内容 | 様々な医療：僻地医療・在宅医療・緩和医療<br>様々な医療：生殖医療・臓器移植・災害医療<br>社会的因子、環境因子が大きく関与する医療や倫理的判断や文化によって影響する様々な医療を紹介する。                                                      |
| 第 12 回 | 前半<br>後半<br>内容 | 感染制御（講義） ガウン&グローブテクニック（実習）<br>自在コマ／前半講義まとめ<br>感染防御に関して総論を学習しスタンダードプリコーションの実技としてガウンテクニックを実習する。後半の自在コマは遅延講義や追加での講義の時間枠で、必要なければ第 1 回から第 7 回までの講義のまとめを行う。 |

## 4 評価

| 評価項目   | 評価割合 |
|--------|------|
| 定期試験成績 | 95%  |
| 実習成績   | 0 %  |
| レポート   | 0 %  |
| 授業態度   | 5%   |
| 小テスト   | 0 %  |
| その他    | 0 %  |
| 合計     | 100% |

（特記事項）

試験は、第 1 回～第 15 回の講義に対して 1 回で実施する。

【内訳】

医学総論 : 定期試験 75%

救急医療（BLS） : 定期試験 20%、授業態度 5%

## 5 教育担当者

科目責任者：森山 学（氷見市民病院 泌尿器科）

|     |                   |
|-----|-------------------|
| 教 授 | 森山 学（氷見市民病院 泌尿器科） |
| 講 師 | 及川 理恵子（医科学）       |
| 講 師 | 牛本 知孝（救急医学）       |
| 助 教 | 伊藤 喜紀（救急医学）       |
| 助 教 | 中嶋 謙斗（救急医学）       |
| 助 教 | 金戸 善史（救急医学）       |
| 医 員 | 吉田 圭佑（救命救急科）      |

## 6 教科書

第 1 回～第 12 回講義

- 1) 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 基礎看護学 2、第 19 版、医学書院、2023
- 2) 系統看護学講座 別巻 臨床検査、第 9 版、医学書院、2023

## 第 13 回～第 15 回講義

3) 山勢博彰他 (著) : 系統看護学講座 別巻 救急看護学、第 6 版、医学書院、2018

## 7 推薦参考書

(第 1 回～第 12 回講義)

系統看護学講座 専門基礎分野 総合医療論、第 3 版 (医学書院)

コメディカルのための専門基礎分野テキスト医学概論 改訂 7 版 北村 論 著 (中外医学社)

臨床病態学 総論、第 2 版 北村聖 (総編集) (ヌーヴェル・ヒロカワ)

看護のための臨床病態学 改定第 4 版 浅野嘉延・吉山直樹 編 (南山堂)

ナースのための臨床推論 徳田安春 著 (メヂカルフレンド社)

ABC of 臨床推論 Nicola Cooper, John Frain 編 宮田靖志 訳 (羊土社)

看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第 1 版 (Medic Media)

看護師特定行為研修 共通科目テキストブック 臨床病態生理学 (メディカルビュー社)

看護師特定行為研修 共通科目テキストブック 臨床推論 (メディカルビュー社)

看護師特定行為研修 共通科目テキストブック 疾病・臨床病態概論 (メディカルビュー社)

看護師特定行為研修 共通科目テキストブック フィジカルアセスメント (メディカルビュー社)

NANDA-I 看護診断 定義と分類 2018 - 2020 上鶴重美 T.ヘザー・ハードマン (医学書院)

がん緩和ケアガイドブック 日本医師会編 (青海社)

お勧めの HP、映像、動画等が含まれる、URL : 看護 ROO (<https://www.kango-roo.com>)

(第 13 回～第 15 回講義)

BLS (一次救命処置) : 系統看護学講座 別巻 救急看護学 第 6 版 (医学書院)

## 8 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

### 準備学修に必要な時間

一般的に、授業 1 コマにつき、事前学修 (予習 120 分程度)・事後学修 (復習 60 分程度) として約 180 分必要です。第 1 回～第 12 回講義はコマシラバス参照ください。

### 具体的な学修内容

第 1 回～第 12 回講義 : 別票参照ください。

第 13 回～第 15 回講義 : 教科書の該当箇所を予め予習しておいてください。

## 9 課題 (試験やレポート等) に関するフィードバック

第 1 回～第 12 回講義 : 要望に合わせて試験の解説、あるいは質問に対応します。

第 13 回～第 15 回講義 : 試験に関しての疑問点等は、適宜質問に対し返答にて対応する。

## 10 履修上の注意事項

第 1 回～第 12 回講義 :

1) コマシラバスを必ず確認してから講義に臨んでください。

2) 第 1 回から第 12 回までの講義は各回、前半・後半の 2 部構成で予定しています。

第 13 回～第 15 回講義 : 救急医学・看護

1) 救急蘇生法の指針をしっかりと熟読しておいてください。

2) BLS 実技と救急患者の観察とアセスメント 1 講義を 2 クラス (A・B) に分けて行います。

A・B クラスについては BLS 講義の際に案内します。

3) BLS 実技は動きやすい服装でお願いします。

- 医学教育棟 5 階クリニカル・シミュレーションセンター（CSC）で行います。
- 4) 実習態度は試験の評価に加算します。

## 11 オフィスアワー等

※担当教員へ質問等がある場合、看護学部事務課に連絡・相談した上で行動すること。

森山：講義に関する質問は授業中・授業後あるいはオフィスアワー（教育要項参照）もしくはそれ以外の時間帯でも連絡あれば対応します（携帯ネット.com あるいはメール：  
moriyama@kanazawa-med.ac.jp）。

及川：講義に関する質問は授業後もしくはメールでお願いします  
roikawa@kanazawa-med.ac.jp

救急医学・看護：質問は授業中・後に単元教員別で対応します。

（授業後の連絡先：救急医学医局へメール qq@kanazawa-med.ac.jp）

## 第1学年

## 臨床医学総論

| 学期 | 回数 | 開講日       | 時限 | 区分 | 講義・実習内容                                              | レポート/小テスト等 | 講座・科目群名     | 教員名                      |
|----|----|-----------|----|----|------------------------------------------------------|------------|-------------|--------------------------|
| 後  | 1  | 10月03日(金) | 4  | 講義 | (前半)イントロダクション (後半)臨床倫理(医の倫理)                         |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 2  | 10月08日(水) | 1  | 講義 | 1,循環/呼吸 生理学の復習,病態生理と症候論                              |            | 医科学         | 及川講師                     |
| 後  | 3  | 10月08日(水) | 2  | 講義 | 2,消化器・腎/尿路系 生理学の復習,病態生理と症候論                          |            | 医科学         | 及川講師                     |
| 後  | 4  | 10月10日(金) | 4  | 講義 | 診断学 (前半)フィジカルアセスメント総論 身体測定/バイタルサイン (後半)胸部診断総論 腹部診断総論 |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 5  | 10月15日(水) | 1  | 講義 | 3,運動器・脳神経 生理学の復習,病態生理と症候論                            |            | 医科学         | 及川講師                     |
| 後  | 6  | 10月15日(水) | 2  | 講義 | 4,内分泌・血液・免疫 生理学の復習,病態生理と症候論                          |            | 医科学         | 及川講師                     |
| 後  | 7  | 10月17日(金) | 4  | 講義 | (前半)外科基本手技,(後半)まとめ(自在コマ)                             |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 8  | 10月24日(金) | 4  | 講義 | 臨床検査1 (前半)臨床検査概説 i)生化学検査 (後半)ii)細菌検査 iii)生理学検査       |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 9  | 10月31日(金) | 4  | 講義 | 臨床検査2 (前半)iv)放射線検査 v)内視鏡検査 (後半)vi)病理学検査 vii)遺伝子検査    |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 10 | 11月07日(金) | 4  | 講義 | (前半)臨床推論(概念と導入) (後半)チーム医療/国際医療                       |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 11 | 11月14日(金) | 4  | 講義 | 様々な医療 (前半)在宅医療・僻地/離島医療・緩和医療 (後半)臓器移植・生殖医療・災害医療など     |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 12 | 11月21日(金) | 4  | 講義 | (前半)感染制御/ガウンテクニックなど (後半)まとめ(自在コマ)                    |            | 氷見市民病院 泌尿器科 | 森山教授                     |
| 後  | 13 | 11月10日(月) | 3  | 講義 | BLS(一次救命処置)講義                                        |            | 救急医学        | 吉田医員                     |
| 後  | 14 | 11月17日(月) | 3  | 演習 | (Aクラス)BLS実技 (Bクラス)意識障害,呼吸障害,ショック                     | 実技         | 救急医学,看護部    | 吉田医員、牛本講師、伊藤助教、中嶋助教、金戸助教 |
| 後  | 15 | 12月01日(月) | 3  | 演習 | (Bクラス)BLS実技 (Aクラス)意識障害,呼吸障害,ショック                     | 実技         | 救急医学,看護部    | 吉田医員、牛本講師、伊藤助教、中嶋助教、金戸助教 |